

日本骨髄バンクの現状（平成 18 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,974	3,460	268,015	337,250
患者登録者数	158	191	3,306	21,694
骨髄移植例数	77	86	-	7,901

20 歳未満のドナー登録者数
11 月 187 人
合計 4,439 人（17 年 3 月～）
51 歳以上のドナー登録者数
11 月新規 118 人
延長 191 人
合計 5,513 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴のある方の対応について

薬事・食品衛生審議会血液事業部会安全技術調査会において、ヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤使用者に関する対応について審議が行われ、献血を制限する措置を講じることとされました。これを受けて厚生労働省健康局長より今後の対応について通達が発出されました。

通達の内容は、ヒト胎盤エキス注射剤の使用により、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病を伝播するリスクがあるため、当分の間の予防措置として、使用歴のある方からの骨髄提供は見合わせるというものです。患者さんとHLA型が適合した場合、コーディネート開始時に使用歴の確認を行い、ヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤使用歴が判明した方については、コーディネート終了とし、ドナー登録は55歳の誕生日まで保留となります。

2 ジャイアンツ・ファンフェスタ 2006、ぐるなびチャリティゴルフから支援

11 月 23 日に読売巨人軍がファンのために開催する一大イベント「ジャイアンツ・ファンフェスタ 2006」が東京ドームで開催されました。多くの巨人ファンで朝から熱気に包まれる中、上原投手のポストカード 3 枚入りのリーフレットを配布し、瞬く間に配布完了となりました。また午後のセレモニーでは、シーズン中に東京ドームやホームページを通じて販売された G・B AND の収益金が原辰徳監督から伊藤副理事長に授与されました。

一方、12 月 4 日に戸塚カントリー倶楽部で『ぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会』（NK B グループ 滝久雄大会会長）が昨年引き続き開催されました。

（社）日本女子プロゴルフ協会や 50 社を超える企業の皆様にご協力をいただき、30 名の女子プロゴルファーを含む約 120 名が参加し、約 700 万円のご寄付がありました。表彰式では、大会の名誉顧問である星野仙一さんから公共広告機構の骨髄バンク CM に起用されたときのエピソードが披露され、中溝裕子プロが骨髄バンクの PR をされました。

終盤に行なわれたチャリティー・オークションでは、女子プロゴルファーの方々から出品いただいた品々が次々と落札され、会場は大いに盛り上がりました。寄付金の贈呈を受け、当財団から滝大会会長に感謝状が授与されました。



3 「骨髄バンクニュース」第 29 号を発行

「日本骨髄バンクニュース第 29 号」を 12 月 4 日に発行いたしました。表紙では、先月ドナー登録していただいた、バレーボール元日本代表で、現在 V リーグ堺ブレイザーズの中垣内祐一監督のインタビューを掲載しています。

特集では「確認検査マルわかり講座」のタイトルで確認検査では何をするか分かりやすく説明し、検査病院がない離島に住むドナーが、飛行機や船で遠くの病院へ行くまでの過程を取り上げました。いつ適合通知が来てもコーディネートを進められるように「コーディネーターが進むかチェックリスト」で自己判断し、必要に応じて登録保留・登録内容の変更・登録取消手続きをしていただけるようにご協力をお願いしています。また、移植施設・採取施設へのアンケート結果の集計報告も紹介しています。

4 りそな銀行の店舗で骨髄バンク支援のミニライブ開催

りそな銀行が実施している「りそな骨髄バンク支援キャンペーン」の一環として、スーパーバンドのミニライブが 2 日間にわたり東京西地域 7 店舗で行われました。12 月 14 日は、豪徳寺、学芸大学駅前、世田谷、15 日は本郷、新都心営業部、新宿、渋谷の各支店で開催され、りそな銀行西地域版「チャンス」やリーフレットも配布されました。

銀行のロビーでのライブに、来店者も最初は驚きの様子でしたが、多くの方々がスーパーバンドの歌とともに骨髄バンクへのドナー登録の呼びかけに耳を傾けていました。

5 極真会代表、野田聖子衆議議員、財団理事長の三者対談

空手大会での登録会や募金活動などを通じて骨髄バンクを長年に亘り積極的に支援していただいている新極真会が機関紙「極真魂」の特集記事を掲載するため、緑健児新極真会代表、野田聖子衆議院議員、正岡徹理事長の三者対談が行われました。



対談は「骨髄バンク支援のあゆみと今後の支援について」をテーマとし、患者救命のためにそれぞれの立場からどのような支援をしていくべきか話し合われました。対談の内容は、来年発行予定の「極真魂」に掲載されます。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	12月22日(金) 17:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
将来展望に関する検討会議	公開	12月23日(土) 15:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
将来展望に関する検討会議	公開	1月6日(土) 15:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室